令和5年度　革新的自殺研究推進プログラム　委託研究公募申請書（研究計画書）【継続申請用】

令和5年　　月　　日

いのち支える自殺対策推進センター

センター長　清水　康之　殿

申請者

下記のとおり、令和5年度革新的自殺研究推進プログラムの委託研究に申請いたします。

* **領域・研究課題名**

|  |
| --- |
| **領域の選択　※以下のうち1つだけ選択してください。**[ ] 領域1：子ども・若者に対する自殺対策[ ] 領域2：自殺ハイリスク群の実態分析とアプローチ[ ] 領域3：ビッグデータ・AI 等を活用した自殺対策 |
| **研究課題名　※研究課題名は令和4年度と同様のものを記載してください。** |

* **申請者等**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | 　 | 生年月日 | 西暦　　　　年　　月　　日(　　)歳 |
| 氏　名姓と名の間を１字あける | 　 | 学位（取得年月） | 　（　　　　年　　　月） |
| E-mail | 　 |
| 所属機関 | 機関名 |  |
| 部署名等 |  |
| 職名 |  |
| 所在地等 | 〒 |  |
|  |
| Tel | 　 | Fax | 　 |
| (注)審査結果は各申請者宛に通知します |
| 経理事務担当者 | 氏名 | 　 | E-mail: |
| 所属 | 　 | Tel: |
| 秘書等連絡先庶務・事務係でも可 | 氏名 |  | E-mail: |
| 所属 |  | Tel: |

※経理事務担当者については、申請前に所属機関と協議の上決定してください。申請時に決定がなされていない場合、氏名欄に「協議中」と記載して下さい。なお、経理担当者については、経理事務に精通した、同一所属研究機関内の方を置いてください。

* **令和5年度：**直接経費　　　　千円、間接経費　　　　千円、総額　　　　千円

※令和5年度第1回GBにより決定された金額（通知書記載の金額）をご記入ください。

※間接経費は直接経費の30%です。

* **研究事業予定期間**

令和5年契約締結日から令和　　年　　月　　日まで

当該年度（　年計画の2年目）

※以降、適宜、行を増やして記入欄を伸ばしていただいて差し支えありません。

※適宜、図や表を用いて作成していただいて差し支えありません。

**1．申請者（研究代表者）　略歴**

|  |  |
| --- | --- |
| 最終学歴 | 　 |
| 最終学歴以降の略歴 |  |

※大学、研究機関に所属していない場合は自殺対策に関する研究・活動歴等を記入して下さい。また、最終学歴以前に自殺対策に関する研究・活動歴等がある場合は、それも記入してください。

**2．研究組織：申請者・研究分担者・研究協力者**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属研究機関部署職名 | 現在の専門学位（最終学歴）役割分担 | 直接経費（千円） |
| 研究代表者および研究費の配分を受ける研究分担者には〇を付ける(※) |
| 研究代表者 |  |  |  |  |
| ○ |
| 研究分担者 |  |  |  |  |
|  |
|  |  |  |  |  |
|  |
|  |  |  |  |  |
|  |
|  |  |  |  |  |
|  |
|  |  |  |  |  |
|  |
| 計　00名 | 直接経費合計 |  |

※令和5年度から、研究分担者への配分を行う場合は、研究代表者の所属する機関(以下、「研究代表機関」という)と研究分担者の所属する機関（以下、「研究分担機関」という）の間で「再委託契約」を締結した上で、研究代表機関から研究分担機関へ配分額を送金する形で執行していたくことを予定しています。なお、研究代表機関がいのち支える自殺対策推進センターとの研究委託契約の際に負うのと同内容及び同程度の義務を、「再委託契約」の際に研究分担機関が研究代表機関に対して負うようにしてください。詳細は、令和5年度の「革新的自殺研究推進プログラムに係る委託研究費等事務処理要領」をご覧ください。

**3．研究の概要**

研究の概要について、背景、目的や方法を含め、具体的かつ明確に10行程度で記入してください。

**【研究の概要】**

**4．研究目的と期待される効果**

研究の目的、目標、特色・独創的な点、政策的意義について、適宜文献を引用しつつ、1,600字程度で具体的かつ明確に記入してください。なお、記入にあたっては以下の点に留意してください。

・研究期間内に何をどこまで明らかにするのかという目標を明記してください。なお、複数年度に渡る研究の場合は各年度の目標を明確にしてください。

・今回の研究目的に関連して現在までに行われた国内外の先行研究がある場合は、今回の研究の研究目的と先行研究との関係を明確に記載してください。また、その記載の中で本研究の特色・独創性も説明して下さい。先行研究が存在しない場合は、今この時期に今回の研究を行う意義について説明してください。

・研究の政策的意義として、今回の研究がどのような自殺対策に関するどのような政策課題に対しどのように貢献するのかについて、その具体的な内容を明記し、自殺対策等への活用の可能性（政策へ直接反映される可能性、政策形成の過程等において参考にされるなど間接的に活用される可能性、政策形成に対する間接的な波及効果等が期待できる可能性等）を説明してください。

**【研究目的】**※1,000字程度で記入してください。※

**【期待される効果】**※600字程度で記入してください。※

**5．研究計画と方法**

研究目的を達成するための具体的な研究計画と方法について、1,600字程度で明確に記述してください。なお、記入にあたっては以下の点に留意してください。

・研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的

な役割を明確にしてください。

・複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入してください。

**【研究計画と方法】**※1,600字程度で記入してください。※

**6．人権の保護及び法令等の尊守への対応**

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取り組みを必要とする研究など、法令に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策や措置をとるのか具体的に記述してください。個人情報を伴うアンケート調査など研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要な調査・研究・実験などが対象になります。

　該当しない場合には、その旨を記述してください。

**7．各年度別直接経費内訳（金額単位：千円）**

各費目について年度別直接経費を千円単位で記入してください。

（ダブルクリックで入力できます。グレーの網掛け欄は自動入力です。）



**8．研究費の内容と妥当性・必要性・積算根拠**

「7．各年度別直接経費内訳」における研究経費の具体的な内容とそれらの妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。特に申請年度の研究費について詳しく記入してください。

（ダブルクリックで入力できます。グレーの網掛け欄は自動入力です。）

**【研究費の内容と妥当性・必要性・概算根拠】**

1. 設備備品費、消耗品費

**（金額単位：千円）**

****

|  |
| --- |
| 設備備品費、消耗品費の必要性 |
|  |

**【研究費の内容と妥当性・必要性・概算根拠】（つづき）**

1. 人件費・謝金、国内旅費、外国旅費、その他

**（金額単位：千円）**

****

|  |
| --- |
| 人件費・謝金、国内旅費、外国旅費、その他の必要性 |
|  |